

2019 年度 センター試験 日本史 B (本試験) ワンポイント解説

|     |    |   |
|-----|----|---|
| 第1問 | 問2 | ①=和同開珎は708年に鑄造され、飛鳥時代ではない<br>②=金座・銀座・銭座を設けたのは鎌倉時代ではなく、江戸時代のこと<br>③=寛永通宝は輸入ではなく、国産                   |
|     | 問5 | Ⅲ=コシヤマインの戦い(室町時代) ⇒ I=松前氏がアイヌとの交易権を認められた(江戸時代初期) ⇒ II=幕府の蝦夷地探検(18世紀後期以降)                            |
| 第2問 | 問1 | 下線部 a は『後漢書』東夷伝の内容<br>①=『漢書』地理志<br>③=『魏志』倭人伝<br>④=『晋書』  |
|     | 問2 | a=国造は在地豪族が任命された<br>d=伴造が伴や品部を率いた  |
|     | 問4 | I=国府の設置開始(奈良時代) ⇒ II=勘解由使設置(桓武天皇, 平安時代初期)<br>⇒ III=国司の権限強化(平安時代中期以降)                                |
|     | 問6 | ④=戸籍に基づく支配体制は強化ではなく、衰退  |
| 第3問 | 問2 | ①=国司制度は存続した<br>③=荘園の寄進は増加し、院政の経済基盤の一つ<br>④=雑訴決断所は建武の新政の組織   |
|     | 問3 | II=奥州藤原氏の滅亡(12世紀末) ⇒ III=元寇(13世紀後半) ⇒ I=中先代の乱(14世紀前半)   |
|     | 問4 | ④=寧波の乱(1523年)   |
|     | 問6 | b=特産品の生産は盛んとなった<br>c=時宗や律宗は林下ではない   |
| 第4問 | 問2 | ①=年貢の納入は村請であり、百姓が個々に責任を持つものではない<br>③=村入用は幕府が支給するものではない<br>④=結・もやいではなく五人組(結・もやいは共同作業のこと)             |
|     | 問5 | ③=上知令は寛政の改革ではなく、天保の改革   |
|     | 問6 | I=26 聖人殉教(秀吉政権下) ⇒ III=オランダ商館の出島移転(鎖国の完成, 17世紀半ば) ⇒ II=唐人屋敷の設置(鎖国完成後, 17世紀後半)                       |
| 第5問 | 問2 | X=孝明天皇の勅許は得ていない<br>Y=安藤信正は公武合体推進者   |
|     | 問3 | ①=江戸城は焼失されていない(江戸無血開城)<br>②=初めての電信は東京-新潟間ではなく、東京-横浜間である<br>④=愛国社の結成は東京ではなく、大阪                       |
|     | 問4 | ③=軍隊の統帥権は華族には認められていない   |
| 第6問 | 問2 | ①=全権は小村寿太郎<br>②=初代朝鮮総督は寺内正毅<br>③=降伏文書調印時の首相は東久邇宮稔彦  |
|     | 問3 | ①=東洋拓殖会社の設置は1908年のこと(日朝修好条規は1876年)<br>②=シベリア抑留は太平洋戦争時のソ連の対日参戦によるもの<br>③=満州への移民は廃止されたわけではなく、増加傾向であった |
|     | 問4 | エ=ドッジが編成させた超均衡予算は歳出を極力抑えるものである  |
|     | 問5 | ②=モースではなく、モッセ   |
|     | 問8 | a=日本は湾岸戦争の際、多国籍軍への多額の資金援助を行った<br>d=砂川事件は独立直後のことである  |